<table>
<tr><td>授業科目
基礎看護学方法論Ⅲ
（回復を促進する技術）</td><td colspan="2">専任教員名</td><td>単位数
2</td><td>時間数
60</td><td>履修年次・前/後
2年次/前期</td></tr>
<tr><td>講義のねらい</td><td colspan="5">1　診察・検査に伴う援助の必要性を理解し、対象の安全・安心を守る技術を修得できる。
2　検査の方法と援助について理解する。
3　治療処置の看護援助を理解する。
4　包帯法の原則を理解し実施できる。
5　薬物療法・輸血に伴う知識及び技術について理解する。
6　酸素療法の原則を理解し、取り扱うことができる。
7　吸引の目的・方法を理解し実施できる。</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="4">講義・演習</td><td>担当及び時間</td></tr>
<tr><td>講義内容</td><td colspan="4">1　診療・検査
1)診察　(1)診察の目的　(2)診察時の看護師の役割
2)検査　(1)診察の目的　(2)検査における看護師の役割
(3)検査の種類と実施時の注意点(4)検体検査の採取方法とその取扱い
3)検査時の援助
デモンストレーション・演習　:(1)検尿　(2)血糖測定　(3)採血
2　治療・処置　1)治療処置の目的　2)治療処置における看護師の役割
3　包帯法
1)包帯法の目的と原則　2)包帯の使い方　3)その他の固定法
デモンストレーション:　包帯の巻き方　三角布による固定
4　薬剤についての知識・取り扱い
1)薬物療法の意義　2)薬物療法の基礎知識
3)薬物療法における看護師の役割
4)安全・安楽な与薬の実際
デモンストレーション・演習:皮下注射、筋肉注射、静脈内注射、
点滴静脈内注射(シュミレーターを使用)
5　輸血の管理　1)輸血の意義と管理
6　酸素療法
1)酸素療法の原則　2)酸素の投与方法
デモンストレーション:中央配管による酸素の投与方法、酸素ボンベの取り扱い
7　吸引・吸入
1)吸引・吸入の目的　2)吸引・吸入の方法
デモストレーション・演習:口腔内吸引　超音波ネブライザー</td><td>16

30

14</td></tr>
<tr><td>教科書</td><td colspan="5">系統看護学講座　専門分野　基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ　(医学書院)
系統看護学講座　専門分野　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　(医学書院)</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="5">1　看護技術講義・演習ノート　下巻　（サイオ出版）
1　医療安全ワークブック　第4版　(医学書院)
4　DVD　看護教育シリーズ　医療チームに必要な画像医学の知識と技術
1)CT 検査　2)MRI 検査　3)核医学検査
3　必要に応じて資料を配付する</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="5">終講試験　1・2・3　100 点、終講試験　4・5　100 点、終講試験　6・7　100 点
基礎看護技術試験　4　100 点</td></tr>
<tr><td>備考欄</td><td colspan="5">・事前に演習を行う内容については、DVD を視聴し確認しておく
・演習時の必要な準備については、演習前に示す
・演習項目については、授業終了後も練習し、技術修得しておくこと(実習場における学生・患者相互の不安軽減に向けて努力しておくこと)
・教員とのコンタクトについては、授業終了後又は終講時に案内する</td></tr>
</table>